

令和元年度
事業報告書

社会福祉法人松阪市社会福祉協議会

P 1	第1章 総括
P 2	第2章 法人運営部門
	1 概説
	2 事業シート
	(1) 法人の運営
	(2) 人材育成
	(3) 福祉関係施設の運営管理
	①指定管理施設の適正な運営及び利用の促進
	②社協施設の適正な運営及び利用の促進
P 9	第3章 福祉のまちづくり部門
	1 概説
	2 事業シート
	(1) 地域福祉活動計画事業の推進
	(2) 赤い羽根共同募金運動事業・配分事業の推進
	(3) 社会福祉大会事業
	(4) 総合相談事業
	(5) 資金の貸付事業
	(6) 受託運営事業
	(7) ボランティアセンター事業
	(8) 日常生活自立支援事業
	(9) 地域後見サポート事業
	(10) 生活困窮者自立支援事業
P 29	第4章 在宅福祉サービス部門
	1 概説
	2 事業シート
	(1) 高齢者福祉サービス
	(2) 障がい者福祉サービス
	(3) その他の福祉サービス
P 42	第5章 松阪支所建設報告
	1 施設の概要
	2 建設の概要
	3 事業費内訳
P 43	第6章 資料
	1 法人運営部門
	2 福祉のまちづくり部門
	3 在宅福祉サービス部門

第1章 総括

地域福祉に関する動向が大きく変化する中、あらゆる世代の暮らしに関する困りごとが多様化・複雑化しています。松阪市社会福祉協議会においても、すべての人々の安全・安心な生活に向け、地域住民の参画と協働による「地域共生社会」の実現に向けた取り組みを進めてまいりました。

令和元年度は上記の社会情勢を踏まえ、事業運営の透明性の向上、経営組織の見直しを図り、居宅介護支援事業所等の統合など、組織・運営体制の基盤強化にも取り組みました。

また、支援を必要とする住民(世帯)が抱える多様で複合的な地域生活課題について、個別支援と地域支援による分野を超えた課題解決機能の強化を図るとともに、総合相談支援体制の整備により、地域におけるセーフティネット機能の充実を目指しました。在宅福祉サービス事業所も充実を図り、効率的・効果的な事業所運営に努めるとともに、より専門性を兼ね備えた福祉人材の育成、確保にも取り組みました。

さらに、令和元年度は第Ⅲ期経営計画(平成29年度～令和元年度)の最終年度でもあり、これまでの評価をもとに、第Ⅳ期経営計画(令和2年度～令和4年度)の策定を行いました。第3期松阪市地域福祉(活動)計画と整合性を図りながら、住民の主体的な地域づくりがより充実して展開できるよう重点項目である「人づくり」「場づくり」「ネットワークづくり」の進行管理と評価体制を取り入れて地域福祉を推進していく計画となっています。

そして、本所の新福祉会館及び松阪支所の移転・建設を終えることができ、職員が福祉活動の充実に心機一転して取り組み、地域福祉の一層の充実に努めることが出来ました。

第2章 法人運営部門

1 概説

近年の厳しい財政状況や、地域や個人における福祉や生活の課題が複雑化・多様化していく中、松阪市社会福祉協議会は、財務基盤の安定と地域や個人に対する支援機能を高めていく必要性がありました。

こうした実情を背景として、令和元年度は、福祉のまちづくり部門において福祉のまちづくり課と地域生活支援課を、在宅福祉サービス部門において事業所の統合を行いました。法人運営部門においても、総務課の経理係と庶務係を総務係とし、新しく企画係を設置して法人の運営体制を整備しました。

人材に関しては、これまで行ってきた採用や研修、キャリアパスなどを要員計画としてまとめ、それぞれを関連させて取り組むようにしました。同時に意見交換の場を設け、職員の意見や考えを聴き、福利厚生や組織体制など法人の運営に取り入れていきました。

財政(資金)に関しては、複数年の財政シミュレーションを行い、将来発生する費用や安定した運営を続けるために必要な資金を確保していく資金計画を立て、予算の編成と連動させていくようにしました。

施設・設備に関しては、松阪支所が完成し7月より運営を開始しました。これにより市内全域をカバーする拠点体制が整うことになりました。また施設カルテを更新するとともに、指定管理契約終了後を見据え、施設マネジメントについて検討を始めました。

また、令和元年度は最終年度であり、第Ⅲ期経営計画の反省点を踏まえながら、こうした取り組みを継続させる形で第Ⅳ期経営計画を策定しました。

2 事業シート

(1) 法人の運営

(単位：円)

事業名	法人運営事業 (本所・松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高)	事業シートNo 1-1	
担当部署	総務課 松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高各支所	事業費実績 (前年度比)	333,313,580 54%
<p>【成果】</p> <p>①法人の重要な機関として、理事会、評議員会等の運営をはじめ、各部門や担当の会議から幹部会、経営会議へと提案・検討できるよう法人を運営することができた。</p> <p>②法令等の改正に基づき、規程、規則の改正を行った。</p> <p>③松阪市からの補助事業や委託事業に関して、新しい協議方法へと取り組んだ。</p> <p>④意見交換会を実施し、職員の意見や考えを法人の運営へ取り入れていくことができた。(組織体制、非常勤職員の処遇改善、契約職員と正職員の処遇差改善)</p> <p>【課題】</p> <p>①広く市内の福祉関係団体が運営に参画をしている社協の利点を活かして、理事会等の役員会を予算・決算や規程等の決議だけでなく、地域福祉などについて検討できる運営へ取り組んでいく必要がある。</p> <p>②意見交換会より得られた意見を、引き続き法人運営へ取り入れていくことが必要である。</p> <p>③規程、規則等を社会情勢の変化に対応させていく必要がある。(働き方改革、テレワーク等)</p> <p>④業務の効率化とコスト削減</p> <p>⑤要員計画に基づいた人材の確保</p>		<p>【財源内訳】</p> <p>会費 9,603,460</p> <p>寄附金 1,562,538</p> <p>補助金(松阪市) 179,887,645</p> <p>受託金(県社協) 2,831,591</p> <p>負担金(協会事務) 350,000</p> <p>受取利息配当金 8,909,876</p> <p>雑収入 812,947</p> <p>退職基金差益 4,369,751</p> <p>助成金 1,081,220</p> <p>退職金取崩 25,333,676</p> <p>施設整備等寄附金 1,300,000</p> <p>建設仮勘定取崩 2,597,941</p> <p>繰入金(退職金掛金) 31,088,007</p> <p>繰入金(自主財源) 26,497,946</p> <p>繰入金(支所建設残金) 37,086,982</p>	
<p>【次年度への改善】</p> <p>①法人全体の危機管理体制の整備(BCP策定)</p> <p>②年度末より感染が拡大した新型コロナウイルス等の感染症に対応できる体制の整備</p> <p>③毎年度大きな被害が発生している台風等の自然災害時における組織としての対応</p>			

◆活動実績(取り組み)

①役員会等の開催 ※開催内容の詳細 P 43

・評議員会 5回 ・評議員選任解任委員会 1回 ・理事会 8回 ・監査会 2回

②安定した経営の実現

・自主財源の確保 社協会費：9,603,460円(前年度比4.8%の増加) ・内部監査 2回

③経営計画の推進・改善

・第IV期経営計画の策定 経営計画策定委員会：6回

④衛生管理

・衛生委員会 毎月1回

(2) 人材育成

(単位：円)

事業名	職員研修事業（本所）	事業シートNo 1-2	
担当部署	総務課	事業費実績 (前年度比)	2,644,196 54%
【成果】 ①職員を講師とした内部研修を実施し、講師となる職員のスキルアップに繋げることができた。 ②社協内において集合研修を行い、年間を通して松阪社協職員として必要な知識の習得を行った。 ③外部で主催される研修会へ職員を派遣し、役職や事業における専門知識の習得や県内外の取り組みを学ぶことができた。 ④法人全体の研修を洗い出して分類整理することができた。 ⑤各課による協議体を設けて研修の体系化へ取り組み始めることができた。 【課題】 ①意見交換会で要望のあった職位や勤務年数に応じた専門的な研修や、社協職員として必須の基礎研修(地域福祉)など、職員のニーズに対応できる研修体制の整備 ②キャリアパスを整備して、社協が求める人材像を分かりやすくすることで、職員が自分に求められている能力やあるべき姿、自分が目指していきたい姿を見えるようにすることで、将来を描いて仕事に取り組んでいけるようにしていく必要がある。		【財源内訳】 繰入金(自主財源) 2,644,196	
【次年度への改善】 重点を置く研修として位置付けた「新任職員研修」と「地域福祉を学ぶ基礎研修」の実施			

◆活動実績(取り組み)

①集合研修

- ・新規採用職員研修
- ・第Ⅲ期経営計画報告会
- ・交通安全講習 など計5回

②派遣研修

- ・キャリアパス対応生涯研修
- ・東海北陸ブロック市区町村社協職員研究集会
- ・全国校区・小地域活動サミット
- ・三重県デイサービス協議会役員県外視察研修 など19回

(3) 福祉関係施設の運営管理

※各施設の利用状況詳細 P.45

①指定管理施設の適正な運営及び利用の促進

(単位：円)

事業名	ハートフルみくも 保健福祉センター事業（三雲）	事業シートNo 1-3	
担当部署	三雲支所地域福祉係	事業費実績 (前年度比)	19,071,819 104%

<p>【成果】</p> <p>①地域住民協力のもと、中央ホールで地域イベント「旬のテーマ」で写真展を常時開催し、住民の皆様楽しんでいただいている。</p> <p>②利用者と一緒に緑のカーテン作り等の活動を行い、センターのエコオフィスや景観美化を推進できた。</p> <p>③カラオケ機器を工夫して住民に使用していただくことで、認知症予防やリハビリなど、高齢者の元気づくりにつなげた。</p> <p>【課題】</p> <p>当施設が「より地域に開かれた施設」「地域の交流拠点」となるために、住民の意向を反映した更なる自主事業を展開していく必要がある。</p>	<p>【財源内訳】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">受託金(松阪市)</td> <td style="text-align: right;">19,024,537</td> </tr> <tr> <td>雑収入</td> <td style="text-align: right;">47,282</td> </tr> </table>	受託金(松阪市)	19,024,537	雑収入	47,282
受託金(松阪市)	19,024,537				
雑収入	47,282				

<p>【次年度への改善】</p> <p>①施設が築25年を経過して修繕の必要な箇所が増えてきているため、松阪市と協議し計画的に対策を進めていく。</p> <p>②施設が海岸近くに立地しており、引き続き津波を想定した防災対策など、危機管理への取り組みを利用者と一緒に推進していく必要がある。</p>

◆活動実績(取り組み)

自主事業 3回 参加者延べ人数 193名

(単位：円)

事業名	ハートフルみくも スポーツ文化センター事業（三雲）	事業シートNo 1 - 4									
担当部署	三雲支所地域福祉係	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">事業費実績</td> <td style="text-align: right;">27,153,944</td> </tr> <tr> <td>(前年度比)</td> <td style="text-align: right;">97%</td> </tr> </table>	事業費実績	27,153,944	(前年度比)	97%					
事業費実績	27,153,944										
(前年度比)	97%										
<p>【成果】</p> <p>①利用者のニーズに即した自主事業を積極的に実施し、健康づくりの面から地域住民交流活動をすることができた。</p> <p>②環境美化及び安全面の整備を充実させるなど、利用者のニーズに対応するように努めた。</p> <p>【課題】</p> <p>高齢者の利用も多くあることから、バリアフリー化を進める必要がある。</p>	<p>【財源内訳】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">受託金(松阪市)</td> <td style="text-align: right;">23,871,000</td> </tr> <tr> <td>利用料</td> <td style="text-align: right;">3,154,220</td> </tr> <tr> <td>受取利息配当金収入</td> <td style="text-align: right;">21</td> </tr> <tr> <td>雑収入</td> <td style="text-align: right;">32,257</td> </tr> <tr> <td>自動販売機手数料収入</td> <td style="text-align: right;">96,446</td> </tr> </table>	受託金(松阪市)	23,871,000	利用料	3,154,220	受取利息配当金収入	21	雑収入	32,257	自動販売機手数料収入	96,446
受託金(松阪市)	23,871,000										
利用料	3,154,220										
受取利息配当金収入	21										
雑収入	32,257										
自動販売機手数料収入	96,446										
<p>【次年度への改善】</p> <p>①施設が築25年を経過して修繕の必要な箇所が増えてきているため、松阪市と協議し計画的に対策を進めていく。</p> <p>②施設が海岸近くに立地しており、引き続き津波を想定した防災対策など、危機管理への取り組みを利用者と一緒に推進していく必要がある。</p>											

◆活動実績(取り組み)

自主事業 5回 参加者延べ人数 182名

(単位：円)

事業名	飯南ふれあいセンター事業（飯南）	事業シートNo 1－5	
担当部署	飯南支所地域福祉係	事業費実績 (前年度比)	10,758,305 97%
<p>【成果】 施設運営について、これまで松阪市と協議を重ねてきたこともあり、指定管理料が増額(約1,383千円)された。また、暖冬で暖房費を低く抑えられたことや、消耗品など各支出の節約に取り組むことで、赤字運営(自主財源の繰入)を解消することができた。</p> <p>【課題】 ①地域における避難所の役割を果たしていく上で、災害が大規模化してきていることから、インフラ設備や支援体制を整えていく必要がある。 ②年度末にかけて拡大した新型コロナウイルスなど、施設管理運営における感染症対策を検討していく必要がある。</p>		<p>【財源内訳】</p> <p>受託金(松阪市) 10,756,685 利用料 1,620</p>	
<p>【次年度への改善】 法人全体のBCP作成など、施設運営も含めた組織としての危機管理体制を整備していく。</p>			

◆活動実績(取り組み) ※飯南高齢者生活福祉センターと共通

自主事業 2回 参加者延べ人数 161名
避難確保計画・地区防災計画に関する防災講演会への参加 2名

(単位：円)

事業名	飯南高齢者生活福祉センター事業（飯南）	事業シートNo 1－6	
担当部署	飯南支所地域福祉係	事業費実績 (前年度比)	14,316,933 100%
<p>【成果】 これまで松阪市と協議を重ねてきたことにより指定管理料が増額(約2,600千円)された。また暖冬で暖房費を低く抑えられたことや、消耗品など各支出の節約に取り組むことで、自主財源の繰入額が2,738千円減少し、赤字運営を改善することができた。</p> <p>【課題】 ①最低賃金の改定に合わせ、非常勤職員(当直・日直)の賃金も上昇しており、人件費の捻出が課題 ②年度末にかけて拡大した新型コロナウイルスなど、施設管理運営における感染症対策を検討していく必要がある。</p>		<p>【財源内訳】</p> <p>受託金(松阪市) 13,028,528 利用料 697,120 繰入金(自主財源) 591,285</p>	

【次年度への改善】

法人全体のBCP作成など、施設運営も含めた組織としての危機管理体制を整備していく。

(単位：円)

事業名	飯高高齢者生活福祉センター事業（飯高）	事業シートNo 1－7
担当部署	飯高支所地域福祉係	事業費実績 14,931,172 (前年度比) 113%
<p>【成果】</p> <p>①緊急の入居依頼(3件)に対して、柔軟に対応しながら生活の再建に協力できた。</p> <p>②耐用年数を大幅に超えていたボイラーの修繕が完了した。</p> <p>【課題】</p> <p>①今後も大規模修繕は松阪市の計画に上がっているため綿密に協議していきたい。</p> <p>②年度末にかけて拡大した新型コロナウイルスなど、施設管理運営における感染症対策を検討していく必要がある。</p>		<p>【財源内訳】</p> <p>受託金(松阪市) 13,627,018 利用料 1,304,154</p>
<p>【次年度への改善】</p> <p>法人全体のBCP作成など、施設運営も含めた組織としての危機管理体制を整備していく。</p>		

◆活動実績(取り組み)

自主事業 1回 参加者延べ人数 46名

②社協施設の適正な運営及び利用の促進

(単位：円)

施設名	松阪支所（松阪）	事業シートNo 1－8
担当部署	松阪支所地域福祉係	事業費実績 — (前年度比) —
<p>【成果】</p> <p>平成30年度より建設に着手し、資材不足で工期が3ヶ月延長されることになったが、7月に開設をすることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>①幅広い世代が集う地域交流多目的室の活用や、会議室等の貸館利用について広く周知を行う必要がある。</p> <p>②年度末にかけて拡大した新型コロナウイルスなど、施設管理運営における感染症対策を検討していく必要がある。</p>		<p>【財源内訳】</p> <p>利用料 — 繰入金(自主財源) —</p>

【次年度への改善】

- ①地域福祉係と介護保険事業を行う事業所の連携により、施設の維持運営に必要な事業収益に繋がる利用者層の獲得及び新たな社会資源との繋がりを築く。
- ②法人全体のBCP作成など、施設運営も含めた組織としての危機管理体制を整備していく。

(単位：円)

事業名	社会福祉センター管理補助事業（嬉野）	事業シートNo 1－9	
担当部署	嬉野支所地域福祉係	事業費実績 (前年度比)	11,398,400 130%
【成果】		【財源内訳】	
<ul style="list-style-type: none"> ①施設設備の修繕を進めることができた。 受変電設備改修工事、LAN線工事、誘導灯取替修繕、ロビー照明取替(LED) ②赤い羽根共同募金配分金を活用して新規事業が実施できた。 2人くらしのつどい、防災運動会 ③貸館利用を進め、新たな利用者が増えたことで、利用料収入が増加した。(前年度比1.53倍) 		<ul style="list-style-type: none"> 補助金(松阪市) 8,148,000 利用料 364,100 繰入金(自主財源) 2,886,300 	
【課題】			
<ul style="list-style-type: none"> ①建物の老朽化に伴う計画的な修繕と自主財源の確保 ②年度末にかけて拡大した新型コロナウイルスなど、施設管理運営における感染症対策の検討 			
【次年度への改善】			
<ul style="list-style-type: none"> ①計画的な修繕と予算獲得 ②地域交流拠点とするため幅広い世代に施設活用いただける仕組みづくり ③法人全体のBCP作成など、施設運営も含めた組織としての危機管理体制整備 			

◆活動実績(取り組み)

- ①社会福祉センター自主事業
(一般開放(カラオケ)、就労継続支援B型事業所 自主製品提示)
- ②赤い羽根共同募金配分事業
(2人くらしのつどい、防災運動会、障がい者交流会、地域交流会、宅老所交流会、うれしの子どもクラブ)
- ③赤い羽根共同募金運動
(恵カフェ)
- ④嬉野地区福祉会事業
(写真展示、ふれあい運動会)

第3章 福祉のまちづくり部門

1 概説

令和元年度は、福祉のまちづくり課と地域生活支援課の統合、旧福祉のまちづくり課内における本所機能と松阪支所機能を明確に分けての活動という二つの大きな転換の年となりました。

第3期地域福祉(活動)計画に基づき、住民や関係機関と相互に努力し、「人づくり」・「場づくり」・「ネットワークづくり」に取り組み、地域に根差した社協活動推進を進め、社協会費・赤い羽根共同募金・松阪市の補助金等を財源とし、地域担当制による小地域の福祉活動を中心に、関係機関や関連団体とのかかわりを密にした地域福祉活動の事業を実施しました。

一つひとつの相談に真摯に対応し、適切な支援や社会資源に繋げることができるよう、総合相談事業・資金の貸付事業・生活困窮者自立支援事業を引き続き推進しました。また、日常生活自立支援事業・地域貢献サポート事業を実施し、総合的な権利擁護体制の確立を目指しました。

地域で安心して暮らすことができるよう住民・関係機関と連携し、住民が「住んでよかった」と思えるようなまちづくりと地域福祉を推進してきました。

2 事業シート

(1) 地域福祉活動計画事業の推進

(単位：円)

事業名	地域福祉活動計画事業（本所）	事業シートNo 2 - 1
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係	事業費実績 12,209,000 (前年度比) 109%
【成果】 ①第3期松阪市地域福祉(活動)計画推進 (ア)松阪市全域で、既存事業を実施しながら計画推進に取り組み、一定の成果を得た。また、住民協議会を対象とした「地域につながるのなの方」に関するアンケート調査や、社会福祉法人を対象とした「地域における公益的な取組」の事例や課題についてのアンケート調査を実施し、来年度以降に向けて計画推進の準備も行った。 (イ)各地域への取組について、市内43地区における小地域に対して「人づくり」「場づくり」「ネットワークづくり」の視点を基に、各地域担当者が地域支援計画を策定し推進に取り組んだ。 ②複合化・複雑化した地域からの相談が増加し、地域の困りごとを地域でキャッチし支える仕組みを構築するため、社協内で課を超えた協議を重ねることが出来た。今後は社協内の包括的・総合的な相談体制を構築する中心的な協議の場としていきたい。 ③市内3ヶ所で小地域福祉活動連絡協議会代表者会議の開催を予定したが新型コロナウイルスの影響で中止した。	【財源内訳】 補助金(松阪市) 12,209,000	
【課題】 ①第3期松阪市地域福祉(活動)計画推進 (ア)各地域組織の成熟や抱えている課題に応じた対応 ②複合化・複雑化した課題への対応 (ア)相談対応における一定の支援システムの構築 (イ)既存の相談機関および相談システムとの連携		
【次年度への改善】 ①第3期松阪市地域福祉(活動)計画推進 (ア)各地域組織の成熟や抱えている課題に応じた地域支援 (イ)担当者の経験値によるバラつきが生じないよう各支所・本所の連携強化 ②複合化・複雑化した課題への対応 (ア)支援システムの構築 相談情報のキャッチと見立て⇒適切な関係機関へつなぎ⇒必要に応じた関係機関との連携した支援 (イ)社協内部および関係機関との協働体を強化 (ウ)包括的・総合的な相談体制の構築のため、既存の相談システムの活用と精査 (エ)個別支援経過の中にて地域で考え、解決に向けた仕組みが構築されるよう働きかける。		

◆活動実績(取り組み)

①第3期松阪市地域福祉(活動)計画の推進

(ア)地域支援計画の策定と推進(43地区)

(イ)コミュニティーソーシャルワーカー及び包括化推進委員受託配置へ向けた協議

人材と支援体制の構築について検討し人材配置に向けて総務課と協力しながら松阪市へ提案

(ウ)地域に根ざした居場所づくり事業

市内43地区住民協議会・まちづくり協議会を対象にアンケート調査を実施(42/43地区回答)

(エ)地域の福祉活動を活性化するネットワークづくり

市内の社会福祉法人を対象にアンケート調査を実施(21/35法人回答)

②小地域福祉活動助成事業 155件 計10,181,988円

- ・地域ふれあい活動 35地区
- ・福祉啓発活動 32地区
- ・見守りネットワーク活動 17地区
- ・要配慮者等食事サービス 31地区
- ・地域福祉教育活動 26地区
- ・在宅介護者のつどい 6地区
- ・子どもの居場所づくり 8地区

(2) 赤い羽根共同募金運動事業・配分事業の推進

(単位：円)

事業名	住民福祉活動事業 (本所・松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高)	事業シートNo 2-2	
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係 松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所	事業費実績 (前年度比)	15,368,082 101%
【成果】	<p>①多くの個人や団体に戸別・街頭・法人・職域・学校・イベント等で募金運動に取り組んでもらえた。</p> <p>②社協だよりやホームページ、SNSを活用し、地域の方に幅広く周知することで共同募金への理解を深めてもらうことが出来た。</p> <p>③市全域で幅広く実施する事業、支所のエリアで顔の見える関係で実施する事業の両方を開催し、幅広い方に参加してもらえた。</p>	【財源内訳】	<p>共同募金(一般) 10,903,257</p> <p>共同募金(歳末) 4,315,000</p> <p>参加費 64,500</p> <p>雑収入 85,325</p>
【課題】	<p>①県共同募金会の見直しに合わせた要綱の改正が必要</p> <p>(ア)事業評価(自己点検)を行ったうえで、助成事業の見直しを図る。</p> <p>(イ)募金実績が年々減少している。共同募金の財源として行う事業の際の周知活動を行う。</p>		
【次年度への改善】	<p>①募金百貨店プロジェクトの推進。ファンドレイジングの視点を持った企画づくり</p> <p>②県共同募金会の配分見直しに合わせた要綱の改正</p>		

◆活動実績(取り組み)

【本所】

①情報発信広報啓発事業

社協だよりの(年6回)・ホームページやケーブルテレビでPR・赤い羽根広報誌(年1回)

②市民活動助成事業 7団体 計650,000円

③共同募金のつどい開催事業(3月) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

④人材育成事業(3月) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

⑤地域福祉教育推進事業

プログラムを小中学校に配布し、地域住民等と連携して17ヶ所で開催

⑥わくわくスクールへの参加(商工会議所主催)

1月 久保中学校2年生 ※3月の西中学校2年生は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

⑦みんなの居場所づくり事業「とのまちカフェ」

開催：月2回(第2・第4金曜) 参加者：延175人 イベント：4回開催

⑧被災者等に対する支援

火災見舞金：半焼1件・全焼3件 風水害見舞金：0件 行路病人旅費：9件

⑨福祉関連団体助成事業 5団体 計500,000円

⑩地域福祉活動助成事業 43地区 計4,520,000円 ※上半期と下半期

⑪小地域福祉活動団体助成事業

戸別募金一般募金実績の30%を福祉会・住協等に助成

⑫三重の赤い羽根募金百貨店プロジェクト(18企業22店舗)

⑬在宅介護者のつどい(在宅介護者と担当地区民生委員児童委員)

開催日：2月6日(木) 場所：華王殿 内容：落語と介護予防運動 参加者：136名

⑭炊き出し支援事業

実施日：2月3日(月) 場所：松阪支所 内容：炊き出し・フードチョイス 参加者：32名

⑮地域防災訓練等応援貸出事業 9件

⑯福祉レクリエーション応援物品貸出事業 46件

⑰第15回松阪市福祉大会・福祉フェスティバル事業費一部助成

【松阪】

①共同募金PR事業(2回、約220人参加)

②市街地循環バス運行協賛金(鈴の音バス 赤い羽根共同募金広告)

【嬉野】

①コミュニティバス協賛金(おおきんバス 赤い羽根共同募金広告)

②多わ会～地域交流会～(12月開催、85人参加)

令和元年12月24日(火) 内容：人形劇 人数：85名

【三雲】

①母子寡婦福祉会行事助成事業(3月) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

②三雲地区福祉交流会事業へ助成 ※会場改修工事と新型コロナウイルスのため開催中止

【飯南】

①地域の見守りづくり(見守り支援活動を一部助成)

②共同募金PR事業(自動販売機ハートフルベンダー設置)

【飯高】

①在宅介護者のつどい ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

②ボランティア団体助成 4団体 計40,000円

③小地域活動配分金助成 4住民協議会 計150,780円

④自動販売機売上助成金 1まちづくり協議会 15,253円

(単位：円)

事業名	障がい者福祉活動事業 (本所・松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高)	事業シートNo 2-3
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係 松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所	事業費実績 2,043,243 (前年度比) 89%
【成果】	①サポートブックを地域スクール事業と連動する形で周知した。障がいの支援者である相談支援専門員がサポートブックのことを知らないこともあり、相談支援専門員に向けて研修会を実施した。 ②市全域で幅広く実施する事業、支所のエリアで顔の見える関係で実施する事業の両方を開催することで幅広い方の参加が得られた。 【課題】 配分事業がより地域とつながりを持てるように受配団体をサポートしていく。	【財源内訳】 共同募金(一般) 1,944,943 共同募金(歳末) 83,000 参加費 15,300
【次年度への改善】	①県共同募金会の配分見直しに合わせた要綱の改正 ②事業の評価(自己点検)を行うことで、助成事業の見直しを図る。 ③募金実績額が年々減少している。共同募金の財源として行う事業の際の周知活動を行う。	

◆活動実績(取り組み)

【本所】

①障がい者サポートブックの推進

地域スクール参加児童保護者へ配布

地域スクール開催時に参加ボランティアへサポートブックを紹介

研修会を開催して市内の相談支援専門員へ周知

②福祉関連団体助成事業 7団体 計800,000円助成

【松阪】

障がい施設・団体等地域交流行事助成事業(行事活動等へ支援) 25件 計750,000円

【嬉野】

多わ会～障がい者交流事業～(知的障がい児者を中心とした地域交流会) 10月開催 60名参加

【三雲】

①身体障がい者のつどい(10月開催、20名参加)

②障がい児者地域交流会(12月開催、61名参加)

③障がい児者生活交流会(2月開催、22名参加)

【飯南】

障がい施設・団体等地域交流行事助成事業(行事等活動へ支援) 1件 15,000円

【飯高】

①障がい者団体助成 1件 25,000円

②障がい者団体交流会 ※インフルエンザ、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(単位：円)

事業名	高齢者福祉活動事業 (本所・松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高)	事業シートNo 2-4
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係 松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所	事業費実績 2,784,899 (前年度比) 95%
【成果】 ①宅老所の活動継続を目的に交流会を実施した。会の運営で悩んでいる方も活動の様子などを話し合うことで、活動を継続する力となっている。参加しやすくするため、複数会場で開催した。 ②地域から宅老所を立ち上げたいという声を聞き、地域担当者が後方支援をすることによって新規宅老所が増えた。 【課題】 宅老所活動を休止する会もあり、活動を継続してもらえる支援が必要	【財源内訳】 共同募金(一般) 2,640,899 共同募金(歳末) 144,000	
【次年度への改善】 交流会は参加者が楽しみにしている声があるため、継続して企画を進めるようにする。		

◆活動実績(取り組み)

【本所】

福祉関連団体助成事業 1団体 300,000円

【松阪】

宅老所活動支援(補助金・助成金)事業

補助金：3件 計90,000円 助成金：67件 計1,151,100円

【嬉野】

①宅老所活動支援(補助金・助成金)事業

補助金：1件 計30,000円 助成金：33件 計513,000円

②多わ会～2人暮らしの集い～(11月開催、61名参加)

③多わ会～宅老所交流会～(3回開催、67名参加)

【三雲】

①宅老所活動支援事業 活動支援助成金 4件 計66,300円

②高齢者世帯のつどい(80歳以上のふたり暮らし) ※新型コロナウイルスの影響により中止

③高齢者元気応援事業カラオケ交流会「われら歌いびと」 ※新型コロナウイルスの影響により中止

④一人暮らし高齢者のつどい事業(2回開催、118名) ※2月は新型コロナウイルスの影響により中止

【飯南】

①要援護高齢者見守り活動(70歳以上の一人暮らし、75歳以上高齢者)

一人暮らし：230名 高齢者世帯：102世帯(204名)

②高齢者世帯の集い(70歳以上の一人暮らし、75歳以上高齢者) ※地区福祉会共催事業

6月開催 56名参加

③高齢者ふれあいサロン活動支援事業(19地区対象：2回実施)

【飯高】

①高齢者安心見守りネットワーク活動

(単位：円)

事業名	児童福祉活動事業 (本所・松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高)	事業シートNo 2 - 5
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係 松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所	事業費実績 6,680,078 (前年度比) 95%
【成果】	①社会福祉大会において、市内で“子どもの居場所づくり事業”の活動をしている団体の啓発を行った。来場者に松阪市内での取組みを知っていただくことができた。 ②松阪市内でも取組みが増えてきている“子どもの居場所づくり事業”への助成を初めて実施し、活動団体の取組みを支援することができた。	【財源内訳】 共同募金(一般) 6,610,078 共同募金(歳末) 70,000
【課題】	①“子どもの居場所づくり事業”への助成金の財源としている『三重の赤い羽根募金百貨店プロジェクト』への協力団体とを結ぶことへの取組みができなかった。	
【次年度への改善】	①子どもの居場所づくり事業の活動内容を周知することで、多くの方に活動を知っていただく。 ②三重の赤い羽根募金百貨店プロジェクト協力企業の寄付金が活用されていることを対象団体に啓発する。	

◆活動実績(取組み)

【本所】

①リフレッシュママの会活動助成事業 1件 200,000円

②子どもの居場所づくり事業 2団体 計85,000円

【松阪】

①子育て支援行事助成事業

放課後児童クラブ活動費 22団体 計555,000円

子育てサークル活動費 5団体 計95,000円

②子どもの行事助成事業(子どもを中心とした地域行事) 148件 計2,969,900円

【嬉野】

①子育て支援行事助成事業

放課後児童クラブ活動費 3団体 計144,000円

子育てサークル活動費 3団体 計60,000円

②子どもの行事助成事業(子どもを中心とした地域行事) 43件 計696,300円

【三雲】

①子育て支援行事助成事業

放課後児童クラブ活動費 4団体 計167,000円

②子どもの行事助成事業(子どもを中心とした地域行事) 22件 計496,600円

③小学校新入生へ交通安全雨傘 180本贈呈

④子どもの未来支援事業(12月開催、69名)

【飯南】

①子育て支援行事助成

放課後児童クラブ活動費 1 団体 計39,500円
 子育てサークル活動費 1 団体 計20,000円

②子どもの行事助成事業

子どもを中心とした地域行事に対し 7 件 計110,500円

③伝統文化継承(3 回開催、130名参加)

【飯高】

①子育て支援事業 飯高地域リフレッシュママの会(10回開催、150名参加)

②保育園卒園児に安全傘学用品配布

③子ども育成事業助成 2 団体 計58,000円

(3) 社会福祉大会事業

(単位：円)

事業名	社会福祉大会事業	事業シートNo 2 - 6
担当部署	福祉のまちづくり課・総務課	事業費実績 3,121,108 (前年度比) 92%
【成果】	<p>会場：嬉野ふるさと会館(嬉野権現前町423-8) 参加者：800人</p> <p>①松阪市社会福祉大会(第15回)</p> <p>松阪市の地域福祉に貢献された個人や団体への表彰と『ありがとう三行詩』 入選作品の表彰を行った。</p> <p>個人：80名 団体等：44団体 三行詩：27名</p> <p>②福祉フェスティバル</p> <p>第3期松阪市地域福祉(活動)計画に基づく地域の居場所づくりを紹介する「地域福祉活動啓発コーナー」、赤い羽根共同募金コーナーを設置し助成団体からのメッセージなどを紹介した。市内の作業所によるオリジナルショップや屋台村、出張とのまちカフェを設置した。</p> <p>赤い羽根共同募金(赤い羽根募金コーナー)：13,909円 令和元年度台風19号災害の義援金募金(屋台村)：93,888円</p>	<p>【財源内訳】</p> <p>補助金(松阪市) 1,802,000 繰入金(自主財源) 1,319,108</p>
【課題】	<p>①今後赤い羽根共同募金配分金の活用が出来ないため、事業内容の精査が必要</p> <p>②より多くの市民の皆様に参加いただけるようにする。</p>	
【次年度への改善】	<p>①第15回大会で寄せられた意見を第16回に反映させていく。</p> <p>②行政、社協職員がさらに一体となって取り組んでいく。</p>	

(4) 総合相談事業

(単位：円)

事業名	総合相談支援事業 (本所・松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高)	事業シートNo 2-7
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係 松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所	事業費実績 4,170,000 (前年度比) 100%
【成果】 ①心配ごと相談事業(124件 2月～3月は新型コロナの影響で休止) 相談員が市民の日常生活のさまざまな相談に応じ、助言や援助を行うことで住民の福祉の増進を図った。 ②法律相談事業(256件 4月～2月 3月は新型コロナの影響で休止) 弁護士による法律相談を行うことで、市民の法律的な心配ごとを無料で相談できる機会を提供した。 ③その他(職員による相談 59件) 相談支援専門職が制度の狭間の課題を抱えた方の相談を行い専門機関や地域へつなぐことで課題解決の支援を行った。 【課題】 災害時や新型コロナウイルス感染など非常事態にも対応できる地域の総合相談窓口として機能する。	【財源内訳】 補助金(松阪市) 4,170,000	
【次年度への改善】 コロナ禍など、緊急事態にも対応できる地域相談窓口の仕組みを構築する。		

(5) 資金の貸付事業

(単位：円)

事業名	生活福祉資金貸付事業	事業No 2-8
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係 嬉野・三雲・飯南・飯高支所	事業費実績 553,800 (前年度比) 97%
【成果】 ①貸付を通じて低所得者世帯の自立・生活支援、社会参加のための相談・支援を行った。また、生活相談支援センターと協働し長期・複数回返済滞納者に対して手紙や電話、訪問による相談支援を行い償還完了に繋がった。 ②生活保護課と協働し要保護世帯向け不動産担保型生活資金貸付を行い、住み慣れた自宅で自立した生活を送れるよう支援した。 ③3月25日からコロナ禍に伴う緊急小口資金の特例貸付を開始し、対象が低所得世帯以外にも拡大された。休業や失業等で生活が困窮した方に向けた緊急小口資金、総合支援資金の特例貸付を実施し、当面の生活維持に向けた支援を行った。 ④返済猶予及び償還免除相談(不動産担保：3名 総合支援資金：1名)	【財源内訳】 受託金(本所) 478,530 (嬉野) 48,110 (三雲) 16,690 (飯南) 4,890 (飯高) 5,580	
【次年度への改善】 特例貸付が7月まで予定されており、収入の減少等で一時的又は生活再建まで生活費用が必要な方に対して、住居確保給付金と合わせて迅速な対応がとれるよう専用の貸付相談窓口を開設する。		

◆活動実績(取り組み)

教育支援資金/教育支援費・就学支度費 12件(生活相談支援センターと協働2件・生活保護世帯5件)
 緊急小口資金 20件(生活相談支援センターと協働14件)
 要保護世帯向け不動産担保型生活資金 新規貸付1件 継続支援2件 相続支援2件

(単位：円)

事業名	つなぎ資金貸付事業	事業No 2-9
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係	事業費実績 477,944 (前年度比) 77%
【成果】	生活保護世帯の方が不測の事態となった際、少額の資金を貸し付けることで生活が維持できるように支援を行った。	【財源内訳】 償還金 477,944
【次年度への改善】	生活費のやり繰りが難しく複数回借り入れされている方について、生活保護課担当者と協働し、不測の事態を予防できるよう支援していく。	

◆活動実績(取り組み)

貸付：18件 140,000円 償還完了：25件 477,944円 未償還：13件 153,000円

(単位：円)

事業名	育英基金貸付事業(飯南)	事業No 2-10
担当部署	飯南支所地域福祉係	事業費実績 2,912,400 (前年度比) 165%
【成果】	貸付利用には至らなかったが、新規利用の相談(2件)へ対応した。	【財源内訳】 償還金 2,660,400 利息配当金 252,000
【課題】	①飯南地域限定の貸付ということや、事業の内容が教育支援の分野と考えられることから、今後も社協が行うべき事業であるかどうか検討が必要である。 ②償還金の滞納が1件あり、今後のアプローチが必要となっている。	
【次年度への改善】	本事業の事業内容の変更(施設整備のための助成、給付型の奨学金への移行など)、実施要綱の変更を検討していく。	

◆活動実績(取り組み)

前年度末未償還金	10件	14,030,400円
令和元年度 貸付金	2件	1,080,000円
令和元年度 償還金	6件	2,660,400円
当年度末未償還金	9件	12,450,000円

(単位：円)

事業名	保育士修学資金貸付事業	事業No 2-11
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係	事業費実績 18,761,402 (前年度比) 145%
【成果】	①松阪市の保育士確保と定着を図るため、保育士資格の取得と市内の保育所で働く意欲を持った学生(指定保育士養成施設)に修学資金の貸付を行った。 ②初年度利用者の内9名が松阪市で保育士として就業した。	【財源内訳】 受託金(松阪市) 17,500,000 繰入金(自主財源) 1,261,402
【課題】	①低所得者向けの給付型奨学金が創設され申込者が減少した。 ②保育士養成施設卒業後、松阪市内保育士未就業者に対しての貸付金返還の方法や就業支援が必要である。	
【次年度への改善】	①事業目的に合わせて審査会委員を改選 ②松阪市内の保育士確保と定着を図るため、申し込み実績のあった高校へ訪問し説明	

◆活動実績(取り組み)

- ・ 県教育委員会および県私学課を通じて三重県下の高校へ周知を行った。
- ・ 松阪市と近隣の高校へ訪問し事業説明、周知を図った。
- ・ 松阪社協の広報紙・ホームページへの掲載等により周知を図った。
- ・ 三重県社会福祉協議会のホームページにリンクされた。
- ・ 松阪市保育士修学資金貸付審査委員会を12月13日に開催し 貸付予約者10件を決定した。
- ・ 平成30年度入学者へ貸付金を送金(10件)
- ・ 平成31年度入学者へ貸付金を送金(10件)

(6) 受託運営事業

(単位：円)

事業名	配食サービス事業 (嬉野・三雲・飯南・飯高)	事業No 2-12
担当部署	嬉野・三雲・飯南・飯高支所	事業費実績 2,026,716 (前年度比) 91%
【成果】	各地域のボランティアから協力を得て、見守りが必要で調理が困難な独居及び高齢者世帯に対し、食事を提供することにより安否確認や地域での見守りによる支援を行った。	【財源内訳】 受託金(松阪市) 1,012,500 利用料 1,012,500 雑収入 1,716
【課題】	担い手不足により事業の継続が難しい地域もあるため、地域における見守りの仕組みや担い手の育成を行う。	
【次年度への改善】	地域の実情に合わせて事業運営の方法を見直す。	

◆活動実績(取り組み)

拠点	嬉野支所	三雲支所	飯南支所	飯高支所
開催	月3回	週1回	月2回	週1回
回数	32回	45回	21回	14回
食数	576食	811食	1,185食	803食

(単位：円)

事業名	緊急通報装置貸与事業 (松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高)	事業No	2-13
担当部署	松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所	事業費実績 (前年度比)	87,000 124%
【成果】 緊急通報装置貸与における訪問調査を行うことで、民生委員や地域の見守り体制、地域の要援護者の状況を確認した(87件)。		【財源内訳】 受託金(松阪市)	87,000
【次年度への改善】 調査を通じて民生委員や福祉サービス関係者と地域の見守り体制について課題提起していく。			

(単位：円)

事業名	高齢者ボランティアポイント事業	事業No	2-14
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係	事業費実績 (前年度比)	2,785,000 121%
【成果】 ①活動員がいきいきと張合いを持ってボランティア活動が行える様に、希望に沿った活動先をマッチングできるよう心掛けた。 ②社協だより3月号にチラシを折込んでPRしたことにより、月間登録者数が他の月よりも増加した。 ③研修交流会を3ヶ所で開催することで、昨年度よりも参加数が増え、「参加しやすくて良かった」、「それぞれの活動を聞いて良かった」との意見が寄せられた。また、地域包括支援センターの認知症地域支援推進員等の話や予防ゲームも「わかりやすくて良かった」、「勉強になった」と好評であった。 【課題】 ①福祉会館以外でもオリエンテーションの開催を予定したが、開催できなかった。 ②広報活動が社協だよりへのチラシ折込みのみであり、新規登録者を増やすための活動が必要である。		【財源内訳】 受託金(松阪市)	2,785,000
【次年度への改善】 いきいきと介護予防に繋げてもらえるよう活動員を募集していく。また、活動員を増やすために公民館や活動団体等への周知を積極的に行う。			

◆活動実績(取り組み)

- ①オリエンテーションの開催(5回、17名参加)
- ②活動員(ささえさん)の研修交流会(3会場、64名受講)
- ③ポイント転換交付金(135名対象、総額505,000円)

(単位：円)

事業名	児童発達支援地域スクール事業	事業No 2-15
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係	事業費実績 5,396,000 (前年度比) 114%
<p>【成果】</p> <p>①冬季開催 開催回数を減らさないよう実行委員会で協議の結果、冬季期間で初めての開催を試みた。栄養士・調理ボラの協力によりクリスマスイメージしたカップケーキ作りを行うなど、参加児童にとって実りある経験とすることができた。</p> <p>②春季開催 「共に学ぶ防災」をテーマとし、防災ボランティア春告鳥・父子の会による「備えについて&缶易トイレづくり」に取り組んだ。保護者も一緒に参加することで、子どもやボランティアと共に学び・考える内容となり良い交流の機会となった。</p> <p>【課題】</p> <p>①冬季開催では、ボランティアの日程合わせも含め、実施日の設定が難しかった。</p> <p>②開催日程によりスタッフ・ボランティアの偏りや不足がみられた。参加児童・ボランティア両者の安全を確保するためにも、開催日数の検討が必要</p>		<p>【財源内訳】</p> <p>受託金(松阪市) 5,396,000</p>
<p>【次年度への改善】</p> <p>①参加児童・ボランティア両者の安全確保を図るため、開催日数や規模を検討</p> <p>②新たな拠点づくり(松尾地区市民センター・豊地公民館など)</p> <p>③まちづくり協議会等との連携による居場所づくりの展開</p>		

◆活動実績(取り組み)

開催回数	開催場所	スクール参加者	ボランティア
17回	市内8ヶ所	延べ 145名	延べ 254名

※3月は新型コロナウイルスにより中止(1回)

(7) ボランティアセンター事業

(単位：円)

事業名	ボランティアセンター事業	事業No 2-16
担当部署	福祉のまちづくり課ボランティアセンター係	事業費実績 5,700,000 (前年度比) 103%
【成果】 ①ニーズに対してボランティア連絡協議会や市内外高校・大学等へコーディネートし、各地で活動してもらうことが出来た。 ②ボランティアの連携強化と自己研鑽のため講演や研修や、ボランティアフェスタを三重県立こどもの城で開催して子ども・子育て世代への啓発を行った。 ③ボランティア育成として「ニュースポーツ・障がい者スポーツ啓発ボランティア」養成講座を開催したことで、今後は三重とこわか国体へのボランティア活動が期待出来る。 ④災害ボラセンサポートスタッフ養成研修(第8期生)を地域に偏りなく育成するため三雲地区で実施した。またサポーターと共に地域の防災訓練へ参加し、地域との連携の懸け橋となるよう活動を行った。 ⑤松阪市避難所運営マニュアル策定委員会や三重県地域福祉活動推進協議会災害対応検討部会へ参画し、ボランティアなど外部支援受援体制構築について協議した。		【財源内訳】 補助金(松阪市) 5,700,000
【課題】 ①新型コロナウイルスの影響で多くのボランティア活動が自粛せざるを得なくなった。活動が休止したことによるサポートなど、今の状況下で取り組める活動を実施していく必要がある。 ②高齢化によりボランティア活動の継続が困難となり、活動を終了したいというグループがある。センターと各支所が連携しながら、グループの想いに寄り添いサポートを行っていく必要がある。		
【次年度への改善】 ①ボランティア活動等の情報発信の更なる強化(SNS活用・松阪市アプリとの連携など) ②災害時における体制づくりの推進		

◆活動実績(取り組み)

①登録ボランティア数

	松阪	嬉野	三雲	飯南	飯高	計
グループ (人数)	45グループ (696名)	15グループ (210名)	12グループ (190名)	5グループ (157名)	13グループ (226名)	90グループ (1,479名)
個人	18名	7名	1名	0名	9名	35名
計	714名	217名	191名	157名	235名	1,514名

②松阪市ボランティア連絡協議会との協働事業

会議(総会・役員会・打合せ等)：37回 行事(イベント・研修・交流会等)：26回 合計：61回

③ボランティア派遣実績

依頼件数：1,260回 派遣人数：8,095人 ※派遣内容の詳細 P 46

④ボランティア団体助成金 24団体 助成総額 1,337,900円

⑤主な行事・講座実績

(ア)ニュースポーツ・障がい者スポーツ啓発ボランティア(3回開催、11名参加)

(イ)傾聴ボランティアフォローアップ研修(5回開催、9名参加)

(ウ)一芸ボランティア養成フォローアップ研修(全12回、5名受講)

(エ)ボランティアパワーアップ研修会(1回、180名参加)

(オ)ボランティアフェスタ

10月14日(月)開催 会場：三重県立こどもの城 参加者数：250名(内協力ボランティア100名)

(カ)手話啓発事業(手話サロン)

2月1日(土)開催 会場：松阪市社会福祉協議会松阪支所 参加者数：65名

(キ)井村屋グループ(株)との協働福祉活動事業(お手玉交流会)

1月8日(水)開催 40名参加(協力：手芸ボラ)

(ク)ボラっていいよね、学生ボランティアとの連携活動

活動：3回 参加者：27名 協力校：松阪高校・三重高校・皇学館大学

(ケ)サマーボランティアスクール・ウィンターボランティアスクール(197名参加)

(コ)災害ボランティアセンター・サポートスタッフ養成講座(8期生、4回開催、11名参加)

※新型コロナウイルスのため2月は中止

(サ)災害ボランティアセンター・サポートスタッフフォローアップ講座

※2月に開催予定であったが新型コロナウイルスにより中止

⑥災害ボランティアセンター運営推進事業

(ア)松阪市災害ボランティアセンターの設置・運営について、松阪市関係部局と協議

(イ)松阪市受援計画策定の検討(本格協議は令和2年度の予定)

(ウ)松阪市避難所運営マニュアル策定委員会へ参画しボランティアの外部支援受援について提言

(エ)三重県地域福祉活動推進協議会災害対応検討部会へ参画し、県域での災害VC運営・協力体制構築に向けて協議

⑦災害ボランティア活動

浸水被害を受けた被災地社協(栃木県栃木市)に対し社協職員ブロック派遣

期間：11月23日(土)～11月29日(金) 場所：栃木県栃木市災害ボランティアセンター

⑧被災者支援事業

松阪市ボランティア連絡協議会・学生ボランティアと協力して東北復興支援・熊本地震復興支援・大規模水害復興支援の募金活動を実施

大槌町漁港の物産販売をおこなうなど東北地域とのつながりの継続にも取り組んだ。

(単位：円)

事業名	ふれあい体育祭事業	事業No	2-17
担当部署	福祉のまちづくり課ボランティアセンター係	事業費実績 (前年度比)	1,200,000 101%
【成果】 障がい者福祉増進のため、スポーツやレクリエーションを通じて体力の維持向上を図ると共に、ボランティアとの交流を深め、障がい者の自立促進とボランティア活動の推進を目的に開催し、多くの方に参加してもらうことが出来た。 【課題】 ①障がい当事者および家族、ボランティアともに年々増加傾向にあり、会場の収容能力が限界に近づきつつある。 ②多くの方が参加することで当事者・ボランティアの交流に深みが得られない部分がみられるようになってきている。		【財源内訳】 寄附金 100,000 補助金(松阪市) 1,100,000	
【次年度への改善】 多くの方が参加するようになり、安全確保と交流がより育まれる内容に取り組んでいく。			

◆活動実績(取り組み)

開催日：6月2日(日)

場所：ハートフルみくもスポーツ文化センター

参加者数：535名(内訳：障がい者8団体、障がい者12施設275名、ボランティア等260名)

内容：スポーツやレクリエーションを通じた障がい者とボランティアの交流

玉入れ、スポレク、餅つき、応援合戦、しょうがい音頭、パン食い競争、じゃんけんゲーム

(8) 日常生活自立支援事業

(単位：円)

事業名	日常生活自立支援事業	事業No	2-18
担当部署	福祉のまちづくり課権利擁護係	事業費実績 (前年度比)	22,229,313 83%
【成果】 ①4月より基幹型社協から各市町社協の対応に変更されたが、大きな混乱なく移管することができた。移管に伴い実利用件数は減少したが、専門員が減った中でも新規契約件数は一定数を維持出来た。 ②初めての試みとして、生活支援員養成講座を地域後見サポート事業の後見支援員養成講座と合同で開催した。 【課題】 ①新規契約はあるが、相談件数も多く待機者解消には至らない。 ②支援員の確保を目的に開催した養成講座の修了者が、実際に活動できる支援員の確保に上手く繋がっておらず、養成講座の開催方法についても検討が必要と思われる。		【財源内訳】 受託金(県社協) 13,110,400 利用料 1,278,400 助成金 853,200 (松阪社協・多気社協) 繰入金(自主財源) 6,987,313	

【次年度への改善】

- ①待機数を少なくするため、行うことができる取り組みを考え実行する。
- ②生活支援員確保のため、養成講座等の開催方法等見直しを行う。

◆活動実績(取り組み)

①令和元年度実績

(件)

区分	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
相談援助件数	643	191	962	60	1,856
契約件数	19	2	10	2	33
解約件数	25	19	10	0	54

②実利用者件数(令和2年3月末現在)

(件)

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
65	33	42	9	149

③生活支援員関係

登録人数：31名 活動人数：30名 支援回数：延べ3,002回

④研修会等の開催 ※地域後見サポート事業 後見支援員養成講座と合同で開催

(ア)令和元年度 日常生活自立支援事業 生活支援員養成講座(3回開催、12名参加)

(イ)令和元年度 日常生活自立支援事業 生活支援員等スキルアップ研修会(1回開催、10名参加)

(9) 地域後見サポート事業

(単位：円)

事業名	成年後見サポート事業	事業No 2-19
担当部署	福祉のまちづくり課権利擁護係	事業費実績 444,904 (前年度比) 82%
【成果】	相談事業等これまでの活動実績から、令和2年度に松阪市より成年後見センター事業が委託されることとなった。	【財源内訳】
【課題】	法人後見の受任や支援の増加に対応できるよう、後見支援員養成講座を開催したが、2日間のプログラムの内、1日しか参加できない方がおり、今後の講座開催時に不足分を受講してもらう必要がある。	利用料 444,904
【次年度への改善】	松阪市成年後見センター事業の業務委託契約を締結し、事業実施要綱等を整備していく。	

◆活動実績(取り組み)

①成年後見制度への取り組み

(ア)成年後見制度の情報提供と相談支援 新規相談件数：26件

(イ)広報・啓発

成年後見制度や地域後見サポート事業の周知するため市民に向けた研修会を開催(90名参加)

②法人後見事業

(ア)法人後見運営委員会の開催(年6回開催、委員7名)

(イ)市長申し立ての申込みに関する支援

親族や本人申立に関する相談が多く、市長申し立ての紹介は1件

(ウ)後見人(類型：後見・保佐・補助)を受任

8件(後見4件、保佐4件)受任 内訳：入院・入所2件、在宅6件

(エ)後見支援員の養成(2回開催、8名受講)

(オ)専門職や関係機関との連携

専門職等からの成年後見制度のに関する相談17件

③相談ネットワークの構築

(ア)他機関と連携強化、ネットワークの構築

成年後見人等を受任している方を対象とした情報交換会・交流会を開催(10月開催、6名出席)

(10) 生活困窮者自立支援事業

(単位：円)

事業名	生活困窮者自立相談支援事業	事業No 2-20
担当部署	福祉のまちづくり課生活相談支援係	事業費実績 17,419,671 (前年度比) 101%
<p>【成果】</p> <p>①事業を広く市内へ周知するため、7月に全戸へチラシの回覧、3月に松阪市広報で見開きの特集を掲載した。大手企業の一斉解雇に関する相談や新型コロナウイルスに関する相談もあったが、積極的に周知したことで相談件数の増加に繋げることが出来た。</p> <p>②就労準備支援ではハローワークと連携を密にし、一緒に考えながら利用者を支えることで就職に繋ぐことが出来た。昨年度体制を整えた面接用のスーツ貸出しも実績は一桁であるが就職の決定に貢献した。</p> <p>【課題】</p> <p>①相談件数が増加してきており、センターの増員について松阪市と協議を進めていく必要がある。</p> <p>②新型コロナウイルスなど緊急時の体制について検討が必要</p>		<p>【財源内訳】</p> <p>受託金(松阪市) 15,801,000 繰入金(自主財源) 1,618,671</p>
<p>【次年度への改善】</p> <p>社会情勢の影響により、今後失業者や休業者の増加が見込まれており、ハローワークとの連携を強化し、就労自立促進事業や開拓した事業所への紹介など、日々改正される制度に対応していきたい。</p>		

◆活動実績(取り組み)

- ・新規相談受付件数：360件 継続相談受付件数：2,834件
- ・プラン作成数：70件
- ・履歴書証明写真の撮影：9件

- ・面接のためのスーツ貸出し：9件
- ・就職決定者64名(内、就労開始を確認できた人40名)
- ・住居確保給付金 相談件数：56件 申請件数：8件

(単位：円)

事業名	生活困窮者家計改善支援事業	事業No 2-21
担当部署	福祉のまちづくり課生活相談支援係	事業費実績 5,130,000 (前年度比) 100%
【成果】	<p>①家計改善支援員を1名から2名体制にして実施。プラン作成件数は前年に比べ若干減少したが相談件数は2倍以上の増加した。 (相談は希望するがプラン作成までは必要とされない方が多い) 全相談者に占める家計改善の相談割合は38%。自立相談支援事業利用者に占める家計改善支援事業利用率は63%と支援プラン作成者数の過半数が家計の相談を含んでいる。</p> <p>②松阪市、伊賀市の家計改善支援プランの件数が多いことから、三重県主催の家計改善支援担当者の情報交換会で講師を担った。</p> <p>③国で開催される家計改善支援従事者養成研修に新たに1名参加したことで家計改善支援のノウハウが分かる相談員が3名となり手厚い伴走支援が行えるようになった。</p>	【財源内訳】 受託金(松阪市) 5,130,000
【課題】	<p>①プランに結び付きにくいケースが多い</p> <p>②一件に対して支援時間がかなりとられる</p>	
【次年度への改善】	相談者の増加に対しプラン策定が追い付いていない現状があり、プラン策定件数だけをみるのではなく伴走型支援であることを念頭に、バランスをとっていきたい。	

◆活動実績(取り組み)

①主な支援の内容

家計管理に関する支援

分納相談や支出軽減手続きの同行支援(収納課、保険年金課、障がい福祉課、弁護士・司法書士等)

貸付のあっせん

②作成・相談件数等

プラン作成件数44件(前年度48件)

相談件数1,206件(前年度540件)

弁護士や司法書士への同行支援14名(うち8人が債務整理手続きを開始)

(単位：円)

事業名	生活困窮者就労準備支援事業	事業No 2-22
担当部署	福祉のまちづくり課生活相談支援係	事業費実績 5,866,998 (前年度比) 93%
【成果】 ①長期間就労していない方等に就労までの準備段階に寄り添い、日常生活自立・社会生活自立・就労自立の支援を行ってきた。 ②10年以上仕事のブランクがある方、ハローワークで求職活動するがなかなか採用されない方、10年間引きこもっていた方が就労することが出来た。 ③本当に就労可能なのかと感じる方に、カウンセリング、職業興味検査、コラージュ等の専門的な支援を行うことで、就労まで結びつけることが出来た。		【財源内訳】 受託金(松阪市) 5,866,998
【課題】 ①事業対象者への対応が難しく、誰でもできるような支援ではないため、担当できる職員が限られてしまう。 ②一人にかかる支援時間が長く、事務所に残る自立相談支援のメンバーとして考えづらい。		
【次年度への改善】 ひきこもりの方に向けて、手紙やメールを出したり、Zoom等も活用してアウトリーチ出来るようにしていく。		

◆活動実績(取り組み)

①主な支援の事例

10年以上の仕事のブランクがある方に対して、市内企業で就労体験(6～7月)を実施

求職活動するがなかなか採用されない方にカフェで就労体験(7～8月)を実施

10年間引きこもっていた方に、企業で就労体験(9月)を実施

就労継続支援B型事業所で2名の就労体験(2月)を実施

企業で1名の就労体験(2月)を実施

図書館で本の修繕作業ボランティア体験を3名実施

本人の生きづらさに寄り添う中で、本人が障がい受容できるよう支援

※上記事例の多くが就労に繋がっていくことが出来た

②利用・相談件数等

利用件数9件(前年度4件)

相談件数167件(前年度76件)

協力事業所開拓8事業所(松阪市観光協会カフェ「スイード」、(株)JSM、笑びすや農園等)

第4章 在宅福祉サービス部門

1 概説

高齢者の尊厳の保持と自立した生活を支援する目的のもと、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービスを提供しています。

平成12年に高齢者の介護を社会全体で支える制度として、介護保険法が施行されました。これまでに3年毎の法改正を経て、平成30年度に、地域包括ケアシステムの推進や自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現が求められるようになりました。

介護の基本報酬が引き下げられ、その分を質の高い介護サービスの実現のため各種加算で算定することが求められるようになりました。

松阪市社会福祉協議会でも、介護職員初任者研修や他法人との連携による介護職員実務者研修などの開催により、資格取得に向けての支援を行っています。

過疎地域では、他法人の事業所閉鎖の影響もあり、社協に対する通所介護・訪問介護などのニーズが高まり収益増となっていますが、職員確保が困難なため、全てに対応できない等の課題もあります。このように、社会全体で介護を支える仕組みの介護保険制度であるはずが、介護保険料を支払っても選べるサービスが無いなどの地域格差が生じているのも実際です。

令和元年度は、4か所の居宅介護支援事業所を2か所に、訪問介護も飯高・飯南の事業所を統合することで、広いエリアでサービスをカバーできるように体制を整えました。統合により飯高居宅介護支援事業所は、特定事業所加算の算定が増えることとなりました。

令和元年7月には、地域福祉の拠点として松阪支所を新築移転しました。松阪支所では、総合支援事業緩和型として介護予防を目的とした『福っきー体操くらぶ』を開所しました。

また、障がい者の自立を支援する目的から、障がい者自立支援法に基づき地域生活と就労を進めるサービスを提供しています。

松阪支所では、障がい者の社会参加を目的としたカフェ『えみりあ』をオープンしました。通所者3名からのスタートでしたが、特別支援学校の実習などの受入れにより新規利用も増えています。カフェ以外の請負事業の獲得が今後の課題でもあります。

就労継続支援B型事業所では、一定の利用者確保はできているものの、サービスの利用は保護者の高齢化などにより入所や短期入所など、形態も変化してきています。

介護・障がいサービス共に職員の平均年齢上昇もあり、職員の確保が大きな課題となっています。

(1) 高齢者福祉サービス

(単位：円)

事業名	訪問介護事業（松阪・飯高）	事業シートNo 3-1
担当	在宅福祉サービス課	
部署	訪問介護事業所（松阪・飯高）	
【成果】		事業活動収支 (前年度比)
①効率的、効果的な運営を目指し、4月に飯南と飯高の訪問介護事業所を飯高町宮前に統合したことで、両地域の中心から訪問をカバーすることができた。		事業活動収入 65,735,385 102%
②サービス提供責任者の勉強会や会議などを開催し、知識を深めることができた。		事業活動支出 72,886,158 101%
【課題】		差引 △ 7,150,773
①山間部では他法人が事業所を閉鎖し、新規依頼に対応できる人員が確保ができない。		【拠点別内訳】
②登録ヘルパーの平均年齢上昇や、職員を募集しても応募がないため、ニーズがあっても対応できない。		松阪支所 (前年度比)
③既存の職員だけでは、訪問時間が重なり新規依頼に対応できないことがある。		事業活動収入 39,023,600 97%
		事業活動支出 43,781,204 97%
		差引 △ 4,757,604
		飯高支所 ※ (前年度比)
		事業活動収入 26,711,785 109%
		事業活動支出 29,104,954 108%
		差引 △ 2,393,169
		※前年度の飯南・飯高支所を合算
【次年度への改善】		
①ニーズ(利用申し込み)の増加に対応できるように、募集方法の見直し等による従事者の確保		
②居宅介護支援事業所へのアピール等を行い、訪問介護事業所の稼働率上昇への取組み		

事業名	通所介護事業（嬉野・三雲・飯南・飯高）	事業シートNo 3-2
担当 部署	在宅福祉サービス課 通所介護事業所（嬉野・三雲・飯南・飯高）	
<p>【成果】</p> <p>①常勤調理員の不足により、職員が介護と調理を兼務していたが、11月に調理員を採用したことで、介護現場が安定した。これによりイベント企画やボランティアの受入れがスムーズにできるようになった。</p> <p>②調理員採用により、手作りおやつなど食事内容も向上し、利用者の反応も良くなった。</p> <p>③機能訓練加算が算定できるように、理学療法士や機能訓練職員を配置し、利用者の機能維持、向上を図った。</p> <p>④稼働率85%以上を目標としていたが、職員全員が新規利用を断らない姿勢で取り組んだことにより、90%の稼働率が達成できた。</p> <p>⑤他法人がデイサービスを閉鎖したが、利用者をできる限り受入れたことで、定員(35名)に近い利用者数で稼働している。</p> <p>【課題】</p> <p>①一般浴槽の漏水により浴槽が1ヶ所しか稼働できず、この一般浴槽が壊れると一般浴が利用できなくなる。</p> <p>②調理員が高齢のため、常勤職員(契約職員)の確保</p> <p>③併設する居宅介護支援事業所が統合し、介護支援専門員と直接関わる機会が少なくなった。</p> <p>④子育て世代の職員が多いこともあり、職員が急に休まざるを得なくなった場合のシフト対応が必要となっている。</p> <p>⑤経験値の浅い職員への教育の重要性</p>		<p>事業活動収支 (前年度比)</p> <p>事業活動収入 269,429,812 103%</p> <p>事業活動支出 220,250,844 102%</p> <hr/> <p>差引 49,178,968</p> <p>【拠点別内訳】</p> <p>嬉野支所 (前年度比)</p> <p>事業活動収入 65,165,510 104%</p> <p>事業活動支出 59,868,816 102%</p> <hr/> <p>差引 5,296,694</p> <p>三雲支所 (前年度比)</p> <p>事業活動収入 58,159,370 100%</p> <p>事業活動支出 50,895,954 105%</p> <hr/> <p>差引 7,263,416</p> <p>飯南支所 (前年度比)</p> <p>事業活動収入 71,562,282 109%</p> <p>事業活動支出 59,758,609 100%</p> <hr/> <p>差引 11,803,673</p> <p>飯高支所 (前年度比)</p> <p>事業活動収入 74,542,650 105%</p> <p>事業活動支出 49,727,465 106%</p> <hr/> <p>差引 24,815,185</p>
<p>【次年度への改善】</p> <p>①稼働率アップに向け居宅介護支援事業所へPR</p> <p>②介護や調理の職員確保</p> <p>③軽度者対象の活動量が増えるように個別対応の運動強化を図る。</p> <p>④実務経験の短い職員への指導や教育</p>		

(単位：円)

事業名	総合事業（松阪） 福っきー体操くらぶ	事業No 3-3
担当 部署	在宅福祉サービス課 福っきー体操くらぶ	事業活動収支 (前年度比)
【成果】	<p>①介護予防を目的とする総合事業の緩和型A通所サービスとして、既存の飯南・嬉野・三雲に加え、7月に松阪支所でも開設した。効率アップのため三雲の利用者を松阪へ統合した。</p> <p>②レクリエーションの要素も取り入れた訓練により、好評を得ている。</p> <p>【課題】</p> <p>①松阪の稼働率が目標に届かず、体験会等に取り組んだが、利用者の獲得には繋がっていない。</p> <p>②水曜日は栄養改善を目的とする教室としており、体験会を開催するも利用に至っていない。</p>	事業活動収入 7,239,900 203% 事業活動支出 15,791,211 491% <hr/> 差引 △8,551,311
【次年度への改善】		<p>①新規利用者獲得のため、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所などへPRを行う。</p> <p>②稼働率の低い曜日は、地域の集いなどに足を運び、事業所のPRを行う。</p>

(単位：円)

事業名	認知症対応型共同生活介護事業（飯高） グループホームいいたか	事業シートNo 3-4
担当 部署	在宅福祉サービス課 グループホームいいたか	事業活動収支 (前年度比)
【成果】	<p>①管理栄養士と契約し、栄養指導を通じて血液検査の結果から足りない栄養を補い低栄養の改善や塩分濃度の見直しを行った結果、一部の入所者では血液検査が正常値に改善した。</p> <p>【課題】</p> <p>①職員の高齢化による人員の確保</p> <p>②施設老朽化に伴う施設や設備の修繕が増えている。</p> <p>③指定管理契約期間満了後の検討</p>	事業活動収入 74,538,822 108% 事業活動支出 71,161,311 107% <hr/> 差引 3,377,511
【次年度への改善】		<p>①入所者の重度化に伴う適切な介護支援</p> <p>②介護従事者の確保</p> <p>③徹底した感染予防への取り組み</p>

(単位：円)

事業名	外出支援通所サービス運営事業（嬉野・飯高） 嬉野いきいき・飯高サテライト	事業シートNo 3-5
担当	在宅福祉サービス課	事業実績 18,346,100
部署	嬉野いきいき・飯高サテライト	(前年度比) 102%
【成果】	<p>①介護予防運動、創作活動及びレクリエーションなど、要望に応じたサービスを積極的に取り入れた。</p> <p>②日常動作訓練などにより、日中の居場所づくりや介護予防に繋げることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>施設入所や介護保険移行等で利用者の減少がみられるため、利用者の増加に向けサービス内容の充実をさせる必要がある。</p>	<p>【財源内訳】</p> <p>受託金 17,324,000</p> <p>利用料 1,022,100</p>
【次年度への改善】	<p>①各種サービスを通じた居場所作りの一貫として、生きがいのある生活の支援を積極的にPRする。</p> <p>②地域包括支援センターと連携し、健康講座などを開催して介護予防に努める。</p>	

(単位：円)

事業名	居宅介護支援事業（松阪・嬉野・飯高）	事業No 3-6
担当	在宅福祉サービス課	事業活動収支 (前年度比)
部署	居宅介護支援事業所（松阪・嬉野・飯高）	事業活動収入 156,216,970 100%
【成果】	<p>①松阪支所建設に伴い事務所を2回移転した。7月に新支所への移転を終え、業務を軌道に乗せることができた。</p> <p>②職員異動により、新規相談に対応できない時期もあったが、その後は継続的に相談を受けるとができた。</p> <p>③効率的、効果的な事業運営を目指し、4月に4ヶ所の事業所を2ヶ所へ再編した。</p> <p>④三雲と嬉野の事業所再編により増員したことで、新規相談があっても断らずに対応することができた。</p> <p>⑤介護支援専門員の増員により、困難ケースに対しても様々な意見が出ることで支援の幅が広がった。</p> <p>⑥飯南と飯高の再編は、飯高地区へ移転したことで、特定事業所加算の算定人数が増加し収益増につながった。</p> <p>【課題】</p> <p>①個人だけでなく世帯全体の支援を必要とする複雑なケースも現れるようになり、解決に多くの時間が必要になってきている。</p> <p>②介護保険サービスだけでは支えきれない地域の生活課題なども浮き彫りになり、地域福祉の視点を必要としている。</p> <p>③総合事業対象の認定者が増えているが、事業所として介護予防計画書を作成できる件数には限界があり、全てに対応することができない。</p>	<p>事業活動支出 138,333,844 92%</p> <hr/> <p>差引 17,883,126</p> <p>【拠点別内訳】</p> <p>松阪支所 (前年度比)</p> <p>事業活動収入 50,874,640 96%</p> <p>事業活動支出 47,070,121 97%</p> <hr/> <p>差引 3,804,519</p> <p>嬉野支所 ※(前年度比)</p> <p>事業活動収入 64,732,390 97%</p> <p>事業活動支出 53,780,813 88%</p> <hr/> <p>差引 10,951,577</p> <p>※前年度の嬉野・三雲支所を合算</p> <p>飯高支所 ※(前年度比)</p> <p>事業活動収入 40,609,940 111%</p> <p>事業活動支出 37,482,910 93%</p> <hr/> <p>差引 3,127,030</p> <p>※前年度の飯南・飯高支所を合算</p>

【次年度への改善】

- ①地域福祉係との連携を深め、地域の様々な生活課題解決に向けて協働していく。
- ②地域の活動や福祉団体との交流を図る。

(単位：円)

事業名	地域包括支援センター事業（第二・第三）	事業シートNo 3-7
担当	在宅福祉サービス課	事業実績 79,885,903
部署	地域包括支援センター（第二・第三）	(前年度比) 101%

【成果】

- ①高齢者の尊厳ある生活実現のため、各専門職が事業に取り組むことができた。
- ②相談対応から、地域分析へ繋げられるよう工夫した。
- ③平成30年度に実施したニーズ調査結果から要望のあった地域で地域ケア会議を開催し、課題解決に向けて取り組み始めた。
- ④認知症地域支援として、認知症サポーター養成講座や認知症カフェ、安心見守り隊の養成などを行った。
- ⑤アドバイザーを招いた事例検討会とネットワーク構築、実践力向上に向けた研修会を開催し、介護支援専門員の後方支援を行った。
- ⑥介護予防マネジメントとして、委託ケースの担当者会議において、自立支援や重度化防止の提案や助言を行い、新たな気づきや視点について伝えた。
- ⑦介護予防教室等の開催や自主グループへの支援を行った。

【課題】

- ①自主グループは地域全体でほぼ活動できるようになったが、高齢化や人口減少の問題から、次のリーダー確保が難しくなっている。
- ②認知症地域支援の嬉野カフェについては、新規利用者がなく、周知活動や方法について再検討が必要
- ③権利擁護業務として、判断能力はあるが成年後見制度まで必要ない方で、身寄りのない方や親族の協力が得られない方など、身元保証へ切り替えるタイミングが難しい。

【財源内訳】

受託金	77,322,000
事業収入	33,400
繰入金収入	2,530,503

【次年度への改善】

- ①地域課題の解決に向けて周知を行うことにより、現在取り組んでいる地域が体制を確立したモデルとなり、他の地域へも広がるように支援を行う。
- ②高齢期になってからではなく、少し若い世代から介護予防の知識を持ち、取り組んでいけるような事業形態の見直し。
- ③高齢化している自主グループに関して、機能継続できるように側面的支援を行う。
- ④地域課題収集のため、地域へ出向き、課題を地域と共有し解決や事業展開につなげていく。
- ⑤新規参加者を増やすため、関係機関との連携を図りながら取り組みを行う。

◆活動実績(取り組み)

- ①松阪市が取り組む『エンディングノート』は、既成版を活用して成年後見制度の出前講座を開催して周知を行った。
- ②認知症地域支援として、認知症サポーター養成講座やキッズサポーター、見守り安心隊養成講座やフォローアップ講座を開催した。
- ③民児協と連携を図り、地域課題の共有と、今後の方向性について関係機関を交えて話しあった。
- ④地域ケア会議を開催し、個別・地域の特性を踏まえた課題について、様々な視点から検討を行った。
- ⑤地域のニーズ調査結果を、要望のあった地域へ報告会を行い、地域課題を確認し、今後の課題解決に向けて検討会を開催した。

(単位：円)

事業名	介護保険認定調査事業（松阪・嬉野・飯高）	事業シートNo 3－8
担当	在宅福祉サービス課	
部署	居宅介護支援事業所（松阪・嬉野・飯高）	
【成果】		事業活動収支 (前年度比)
①制度改正の影響で、調査件数が増加する傾向が見られた。		事業活動収入 24,304,270 124%
②7月の松阪支所移転に伴い、事務所フロア内に認定調査員の専用スペースを設けたことで、コミュニケーションがとりやすくなった。		事業活動支出 18,647,021 120%
③認定調査員の体調不良等による長期不在に対しても、他の認定調査員が連携して担当を補うことができた。		差引 5,657,249
【課題】		【拠点別内訳】
①認定調査員の平均年齢上昇に伴い、今後の新たな認定調査員の確保		松阪支所 (前年度比)
②認定調査員の資格が介護支援専門員のため、資格更新に伴う費用や研修会参加への負担が大きい		事業活動収入 18,510,390 123%
③認定有効期間の長期化により、令和元年度の認定調査件数は減少するため、認定調査員にとり収入減となる。		事業活動支出 14,212,670 125%
		差引 4,297,720
		嬉野支所 ※ (前年度比)
		事業活動収入 4,438,090 120%
		事業活動支出 3,469,660 105%
		差引 968,430
		※前年度の嬉野・三雲支所を合算
		飯高支所 ※ (前年度比)
		事業活動収入 1,355,790 154%
		事業活動支出 964,691 122%
		差引 391,099
		※前年度の飯南・飯高支所を合算
【次年度への改善】		
新たな認定調査員を確保するため、退職した介護支援専門員などへの声掛け。		

(2) 障がい者福祉サービス

(単位：円)

事業名	移動支援サービス事業（松阪・飯高）	事業シートNo 3-9
担当	在宅福祉サービス課	事業活動収支 (前年度比)
部署	居宅介護事業所（松阪・飯高）	
【成果】	①利用者の希望に沿って移動支援サービスが提供できた。 ②寒い時期に外出支援サービスの利用は低下していたが、職員を外部サービス利用型共同生活援助サービスに従事させることで訪問介護全体の収益につなげることができた。	事業活動収入 302,850 416% 事業活動支出 107,949 695% 差引 194,901
【課題】	①利用者の心身の状態や天候、季節により、キャンセルとなることがある。 ②職員の確保	【拠点別内訳】 松阪支所 (前年度比) 事業活動収入 63,750 161% 事業活動支出 49,857 362% 差引 13,893 飯高支所 (前年度比) 事業活動収入 239,100 718% 事業活動支出 58,092 3249% 差引 181,008
【次年度への改善】	①利用者の外出意欲につながるような、よりよい関係の形成 ②職員確保への取り組み	

(単位：円)

事業名	居宅介護事業（松阪・飯高） ※同行援護を含む	事業シートNo 3-10
担当	在宅福祉サービス課	事業活動収支 (前年度比)
部署	居宅介護事業所（松阪・飯高）	
【成果】	①効率的、効果的な運営を目指し、4月より飯南と飯高の訪問介護事業所を飯高町宮前に統合したことで、両地域の中心から訪問をカバーすることができた。 ②統合で訪問の幅が広がり収入の増加につながった。	事業活動収入 27,068,640 106% 事業活動支出 17,264,716 102% 差引 9,803,924
【課題】	①職員の平均年齢上昇により募集しても応募が無い状態である。 ②職員体制に限界があり、新規の依頼に対応できない。 ③飯南・飯高地域の居宅介護事業所の減少による受入れ体制の整備	【拠点別内訳】 松阪支所 (前年度比) 事業活動収入 21,407,810 102% 事業活動支出 15,975,169 105% 差引 5,432,641 飯高支所 ※ (前年度比) 事業活動収入 5,660,830 121% 事業活動支出 1,289,547 70% 差引 4,371,283 ※前年度の飯南・飯高支所を合算

【次年度への改善】

- ①職員の確保
- ②空き情報を発信して新規利用へつなげていく。

(単位：円)

事業名	生活介護事業（嬉野）	事業シートNo 3-11
担当	在宅福祉サービス課	事業活動収支 (前年度比)
部署	嬉野生活介護	
【成果】	<p>①安定した運営と稼働状況であった。</p> <p>②利用者のやりたいことの実現に向けた支援を行った。</p> <p>③利用者や家族のニーズに最大限応えられるように調査、会議を重ねて一丸となり取り組めた。</p>	<p>事業活動収入 43,205,430 104%</p> <p>事業活動支出 38,933,392 121%</p> <hr/> <p>差引 4,272,038</p>
【課題】	<p>①医療ケアの必要な新規利用者受け入れに今後も取り組んでいきたいが、利用スペースや職員の心身の負担も考慮して、受け入れは慎重に検討することが必要である。</p>	
【次年度への改善】	<ul style="list-style-type: none"> ①新規利用者の確保 ②短時間の利用者が終日利用できるように支援を行う。 	

(単位：円)

事業名	就労継続支援B型事業（松阪・嬉野・飯高） えみわーく、嬉野ゆうゆう、飯高じゃんぷ	事業シートNo 3-12
担当	在宅福祉サービス課	事業活動収支 (前年度比)
部署	えみわーく、嬉野ゆうゆう、飯高じゃんぷ	
【成果】	<p>①作業の効率化や単価の高い請負で利用者の収入が増えた。</p> <p>②林福連携事業(どんぐり育成)により、2年間の育成後、3月に初出荷が行われた。当初2,000株のどんぐりを5,000株に増やすなど事業も拡大できた。</p> <p>③7月より松阪支所にて、障がい者の社会参加を目的としてカフェ『えみりあ』をオープンした。リピーターもあり次第に収益が増加してきた。開設当初の利用者は3名であったが、えみりあオープン後に支援学校の実習を受け入れることで新規利用者へとつながった。</p> <p>④地域のストックヤードと地域企業への古紙回収により、安定した収益を得ることができた。</p>	<p>事業活動収入 66,255,354 119%</p> <p>事業活動支出 66,019,479 122%</p> <hr/> <p>差引 235,875</p>
		<p>【拠点別内訳】</p> <p>松阪支所 (前年度比)</p> <p>事業活動収入 6,886,609 —</p> <p>事業活動支出 17,187,997 —</p> <hr/> <p>差引 △10,301,388</p>

【課題】 ①利用者の高齢化もあり、介護保険制度への移行や将来の施設入所に向けて日中一時などへのサービス変更があり利用者が減少 ②障がいの特性の多様化や重度化による授産活動の偏り ③カフェ以外の請負事業の獲得 ④嬉野は施設の賃借期間が残り3年であり、協議材料を整えていく。	嬉野支所	(前年度比)
	事業活動収入	27,639,421 102%
	事業活動支出	26,273,313 95%
	差引	1,366,108
	飯高支所	(前年度比)
事業活動収入	31,729,324 111%	
事業活動支出	22,558,169 86%	
差引	9,171,155	
【次年度への改善】 ①特別支援学校との行事や実習受け入れ等により、利用者増に向けた働きかけを積極的に行う。 ②授産活動の負担の偏りを解消するため業務分担の見直し ③職員の支援技術向上のため研修会への参加 ④請負作業の安定のため新規取引先の開拓 ⑤利用者増のため計画相談事業所へのPR活動		

(単位：円)

事業名	多機能型事業（三雲・飯南） サン・ウイングスみくも、夢風船	事業シートNo 3-13
担当 部署	在宅福祉サービス課 サン・ウイングスみくも、夢風船	事業活動収支
【成果】 ①請負作業の効率化を図り受注量を増やした事で利用者の工賃が上昇した。また、工賃上昇により利用者の達成感を高めることができた。 ②就労B型、生活介護共に利用者が増え、経営面では安定してきている。 ③特性や個別送迎、日中一時との連携した営業時間により利用者ニーズに応えることができています。 【課題】 ①介護保険移行などもあり利用者が減少となる。年度末までに新規利用もあったが、今後も新規利用獲得に向け情報発信をしていく。 ②生活介護の利用者ニーズを反映した余暇活動の提供が現状では不十分である。	事業活動収入	96,632,386 104%
	事業活動支出	86,050,642 103%
	差引	10,581,744
	【拠点別内訳】	
	三雲支所	(前年度比)
事業活動収入	39,796,278 99%	
事業活動支出	38,033,178 94%	
差引	1,763,100	
飯南支所	(前年度比)	
事業活動収入	56,836,108 108%	
事業活動支出	48,017,464 111%	
差引	8,818,644	
【次年度への改善】 ①新規利用契約と安定した請負作業の確保 ②障がいの特性を理解するために研修への参加 ③利用者ニーズを反映した余暇活動の企画・運営		

事業名	日中一時支援事業 (嬉野・三雲・飯南・飯高)	事業シートNo 3-14	
担当 部署	在宅福祉サービス課 嬉野ゆうゆう、サン・ウイングスみくも、三雲通所、 夢風船、飯高じゃんぷ	事業活動収支 (前年度比)	
<p>【成果】</p> <p>①10月から2名の利用者が、将来の入所に向けて就労から日中一時の定期利用になった。</p> <p>②365日型の日中一時支援により、多様なニーズに応えられるようになった。</p> <p>【課題】</p> <p>①利用者の状況によっては複数の部屋が必要になることがあり、部屋の確保が困難である。</p> <p>②365日型サービスにより平日利用も増え、特定の職員へ兼務することによる負担が増している。</p> <p>③土日祝などに同性介護の問題から、特定職員への負担が大きくなっている。(職員の確保)</p>		事業活動収入 8,158,716 119% 事業活動支出 612,713 118% <hr/> 差引 7,546,003	
		<p>【拠点別内訳】</p> <p>嬉野支所 (前年度比)</p> 事業活動収入 189,500 158% 事業活動支出 9,813 8% <hr/> 差引 179,687	
		<p>三雲支所 (前年度比)</p> 事業活動収入 800,950 213% 事業活動支出 16,330 98% <hr/> 差引 784,620	
		<p>飯南支所 (前年度比)</p> 事業活動収入 6,768,408 107% 事業活動支出 503,850 132% <hr/> 差引 6,264,558	
		<p>飯高支所 (前年度比)</p> 事業活動収入 399,858 583% 事業活動支出 82,720 — <hr/> 差引 317,138	
		<p>【次年度への改善】</p> <p>①日中一時支援の内容充実を図る。</p> <p>②利用者のニーズに応じた職員の資質向上及び職員確保による業務分担の改善</p>	

(単位：円)

事業名	外部サービス利用型共同生活援助事業 (三雲・飯高) みくもホーム、はーとりあ	事業シートNo 3-15
担当 部署	在宅福祉サービス課 みくもホーム、はーとりあ	事業活動収支 (前年度比)
【成果】	①食事について栄養士に相談し、指導を受けることで栄養バランスや健康面も考慮した食事提供ができた。 ②利用者7名満床で1年間稼働できた。 ③インフルエンザなどの感染症に対し、隔離の判断を早く行ったことで感染拡大を防止できた。	事業活動収入 22,608,130 98% 事業活動支出 24,369,800 124% 差引 △1,761,670
【課題】	①みくもホームでは入居者1名が介護保険へ移行して退所となり、1名減となっている。 ②世話人が高齢になっており、職員を募集しても応募がない。 ③感染症発症時に、自宅へ戻れない方がいる。	【拠点別内訳】 三雲支所 (前年度比) 事業活動収入 7,137,310 98% 事業活動支出 9,674,575 138% 差引 △2,537,265 飯高支所 (前年度比) 事業活動収入 15,470,820 98% 事業活動支出 14,695,225 116% 差引 775,595
【次年度への改善】	①両施設とも世話人が高齢であり、人材確保と地域の雇用になるよう引き続き求人を継続する。 ②職員が障がいの特性について理解を深めることでサービスの質向上を図る。 ③新規入所者の確保 ④短期入所利用から、入所へつなげる取り組み ⑤入所対象の障がい種別を、利用者ニーズに合わせて拡大をしていけるようにする。	

(単位：円)

事業名	短期入所事業 (三雲) みくもホーム	事業シートNo 3-16
担当 部署	在宅福祉サービス課 みくもホーム	事業活動収支 (前年度比)
【成果】	①お盆の利用もあり、稼働日数を増やすことができた。	事業活動収入 3,753,500 100% 事業活動支出 3,777,570 73% 差引 △24,070
【課題】	①ニーズがあっても職員確保が難しい。 ②現状では利用する曜日が限られているため、ニーズに応える他の曜日にも利用拡大を図りたいが、職員体制により困難である。	
【次年度への改善】	①現在は利用日が火水木のみであるが、他の曜日にも利用できるように進めていく。 ②短期入所利用の障がい種別を、利用者ニーズに合わせて拡大できるように進めていく。 ③職員の障がいに対しての理解を深め、資質向上を図る。	

(単位：円)

事業名	障がい者特定相談事業・障がい児相談事業 福らむ	事業シートNo 3-17
担当 部署	在宅福祉サービス課 福らむ	事業活動収支 (前年度比)
【成果】	①月に1人新規契約していく目標は達成できた。 ②個人ファイルを整理したことにより担当者が不在でもカバーできるようになり、効率も上がった。 ③モニタリング対象者が増えたことで、収益増につながった。	事業活動収入 10,373,560 113% 事業活動支出 9,155,671 100% 差引 1,217,889
【課題】	①3ヶ月毎のモニタリング対象者が増加し、一人ひとりへの丁寧な対応が困難となり、報告書の提出が遅れてしまう。 ②世帯全体への支援が必要なケースも増加しており、新規対応ができないことがある。	
【次年度への改善】	①更に効率を上げるため、同じ日に同じ地域を訪問することで移動時間の短縮を図る。 ②関係機関との情報共有や連携で役割を分担し、より専門的な関りを持つようにする。	

(3) その他の福祉サービス

(単位：円)

事業名	福祉有償運送事業（松阪・飯高）	事業シートNo 3-18
担当 部署	在宅福祉サービス課 訪問介護事業所（松阪・飯高）	事業活動収支 (前年度比)
【成果】	①非常勤職員から常勤職員が対応することで、介護保険収入と有償収入(移送費)が請求できることで収入増につながった。	事業活動収入 1,242,900 101% 事業活動支出 104,216 36% 差引 1,138,684
【課題】	①できる限りニーズに対応をしているが、定期受診や透析への移送により、職員の拘束時間が長い。 ②有償運送事業単独では赤字経営となってしまう。 ③訪問介護の新規依頼があるが、有償運送との併設運営のため、有償運送に従事する時間を考慮すると、新規依頼を受けられないことがある。 ④長距離の運転による職員の負担がある。	【拠点別内訳】 松阪支所 (前年度比) 事業活動収入 25,000 102% 事業活動支出 4,646 122% 差引 20,354 飯高支所 (前年度比) 事業活動収入 1,217,900 101% 事業活動支出 99,570 34% 差引 1,118,330
【次年度への改善】	長距離への有償運送にかかる職員の負担軽減	

第5章 松阪支所建設報告

1 施設の概要

施設名称	松阪市社会福祉協議会 松阪支所		
所在地	松阪市鎌田町213-1	開設日	令和元年7月1日
構造	鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき2階建	附帯施設：軽量鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき平屋建	
総延床面積	1326.10㎡	附帯施設面積	47.71㎡
敷地面積	3345.36㎡	部屋数	44室
設備	給排水衛生・電気・機械・空調・厨房機器・24時間換気・自動火災報知		

2 建設の概要

(1) 概要

総工費	513,666,018円		
用地契約日	平成29年1月24日	完成日	43,631
設計契約日	平成30年5月1日	設計会社	株式会社時田建築企画
工事契約日	平成30年9月25日	施行会社	伊藤建設株式会社
工事契約変更日	平成30年12月25日 ※鉄骨建て方工事に必要な高力ボルト入荷遅延のため		

(2) 開設までの経過

平成23年度より本所機能移転についての検討及び松阪市との新福祉会館移転に向けた協議を開始。平成28年度には本所機能移転及び松阪支所移転建設検討委員会を設置し、本所機能とは別の新たな地域福祉推進拠点施設の整備を前提とした基本計画を立案する。同年12月より移転建設用地の選定を行い、翌年3月に新松阪支所建設予定地の売買契約を行った。

支所移転の詳細については組織改革検討委員会や移転建設検討ワーキンググループ委員会、新規事業開設準備委員会を開催し、社協の役割をふまえた施設・機能・事業等について協議。

平成29年度より既存建物の解体や整地などの着工前準備を行い、平成30年9月より市内鎌田町地内にて新支所建設工事の着工を開始。また、隣接地の取得に関する近隣地権者との土地交換、分筆・合筆手続き及び、松阪市との協議による建設用地前の道路加工工事を行った。建設資材の需給逼迫を理由として工期を3ヶ月延長し、令和元年6月15日に新支所建物の完成引渡しとなる。同年6月27日の内覧会を経て、7月2日オープンセレモニーを開催し新松阪支所の開設へと至った。

3 事業費内訳

(単位：円)

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
施設整備積立金取崩収入	233,125,018	土地(基本財産)	142,914,825
介護保険事業基金取崩収入	160,541,000	建物(基本財産)	325,652,840
社会福祉事業積立金取崩収入	100,000,000	建物	111,780
備品購入積立金取崩収入	20,000,000	建物付属設備	1,435,860
収入計	513,666,018	構築物	12,924,440
		備品	4,031,652
		器具什器費	19,248,402
		消耗品	2,653,061
		租税公課	2,493,885
		その他費用	2,199,273
		支出計	513,666,018

第6章 資料

1 法人運営部門

(1) 法人の運営

①理事会・評議員会・監事監査

項目 (出席者)	期日	議題等
第1回監事監査 (監事2名)	5月28日	第1号議案 平成30年度事業報告について 第2号議案 平成30年度収支決算について
第1回理事会 (理事7名) (監事2名)	6月12日	第1号議案 平成30年度事業報告について 第2号議案 平成30年度収支決算について 第3号議案 役員候補者の推薦について 第4号議案 定時評議員会の招集について
定時評議員会 (評議員14名) (理事2名) (監事2名)	6月25日	第1号議案 平成30年度事業報告について 第2号議案 平成30年度収支決算について 第3号議案 役員の選任について
第2回理事会 (理事9名) (監事1名)	6月25日	第1号議案 会長、副会長、常務理事の選定について 第2号議案 評議員推薦者について 第3号議案 定款の一部変更について 第4号議案 松阪支所に関する規程について 第5号議案 評議員選任・解任委員の選任について
第3回理事会 (理事9名) (監事2名)	7月10日 (書面決議)	第1号議案 第2回評議員会の招集について
第2回評議員会 (評議員14名) (理事2名)	7月23日	第1号議案 定款の一部変更について
第4回理事会 (理事7名) (監事1名)	9月26日	第1号議案 令和元年度第1次収支補正予算について 第2号議案 定款の一部改正について 第3号議案 事務局規程の一部改正について 第4号議案 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について 第5号議案 職員就業規則の一部改正について 第6号議案 契約職員就業規則の一部改正について 第7号議案 非常勤職員就業規則の一部改正について 第8号議案 登録ヘルパーの雇用等に関する就業規則の一部改正について 第9号議案 第三者委員の選任について 第10号議案 令和元年度第3回評議員会の開催について 報告事項 会長及び業務執行理事の職務執行状況報告について

項目 (出席者)	期日	議題等
第3回評議員会 (評議員15名) (理事2名)	10月4日	第1号議案 令和元年度第1次収支補正予算について 第2号議案 定款の一部改正について 第3号議案 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について
第2回監事監査 (監事2名)	11月15日	第1号議案 令和元年度中間決算について
第5回理事会 (理事9名) (監事2名)	11月26日	第1号議案 職員給与規程の一部改正について 第2号議案 契約職員就業規則の一部改正について 第3号議案 非常勤職員就業規則の一部改正について 第4号議案 登録ヘルパーの雇用等に関する就業規則の一部改正について 第5号議案 令和元年度第2次収支補正予算について 第6号議案 第4回評議員会の開催について 報告事項 令和元年度中間決算・事業報告について
第4回評議員会 (評議員15名) (理事2名) (監事1名)	12月3日	第1号議案 令和元年度第2次収支補正予算について 報告事項 令和元年度中間決算・事業報告について
第6回理事会 (理事9名) (監事2名)	3月3日 (書面決議)	第1号議案 施設の長他の重要な職員の選任及び解任について
第7回理事会 (理事9名) (監事2名)	3月19日	第1号議案 令和元年度第3次収支補正予算について 第2号議案 第IV期経営計画について 第3号議案 令和2年度事業計画について 第4号議案 令和2年度収支予算について 第5号議案 契約職員就業規則の一部改正について 第6号議案 非常勤職員就業規則の一部改正について 第7号議案 登録ヘルパーの雇用等に関する就業規則の一部改正について 第8号議案 役員選任候補者の推薦について 第9号議案 令和元年度第5回評議員会の開催について 報告事項 会長及び業務執行理事の職務執行状況報告について
第5回評議員会 (評議員14名) (理事2名)	3月26日	第1号議案 令和元年度第3次収支補正予算について 第2号議案 第IV期経営計画について 第3号議案 令和2年度事業計画について 第4号議案 令和2年度収支予算について 第5号議案 役員の選任について
第8回理事会 (理事9名) (監事2名)	3月26日 (書面決議)	第1号議案 常務理事の選任について 第2号議案 施設の長他の重要な職員の選任について

②評議員選任・解任委員会

期日	出席者	議題
7月16日	評議員選任・解任委員 5 名 理事 2 名	審議事項 1 評議員の解任について 審議事項 2 評議員の選任について

(2) 福祉関係施設の運営管理

①各施設の自主事業

施設名	開催日	行事名	参加者数
ハートフルみくも 保健福祉センター	8月28日	ひとり暮らし高齢者のつどい	63名
	12月20日	クリスマスパーティ2019	61名
	12月26日	人形劇団「どむならん」公演	69名
ハートフルみくも スポーツ文化センター	4月21日	卓球交流会	45名
	6月23日	卓球交流会	60名
	8月18日	健康体操	34名
	10月20日	ハンドマッサージ	24名
	12月8日	ビーズネックレス作り	19名
飯南ふれあいセンター 飯南高齢者生活福祉センター	6月7日	避難訓練	76名
	12月20日	避難訓練	85名
飯高高齢者生活福祉センター	12月20日	避難訓練	46名

②貸館利用状況

施設名		平成29年度	平成30年度	令和元年度
松阪支所	貸館件数	—	—	37件
	利用者数	—	—	690名
嬉野社会福祉センター	貸館件数	1,190件	1,272件	1,136件
	利用者数	20,231名	20,310名	18,400名
ハートフルみくも 保健福祉センター	貸館件数	653件	695件	648件
	利用者数	21,242名	22,278名	17,771名
ハートフルみくも スポーツ文化センター	貸館件数	5,012件	5,286件	4,127件
	利用者数	53,483名	60,945名	41,268名
飯南ふれあいセンター	貸館件数	441件	408件	348件
	利用者数	11,188名	9,973名	9,271名
飯南高齢者生活福祉センター	貸館件数	75件	64件	47件
	利用者数	513名	831名	254名
飯高高齢者生活福祉センター	貸館件数	101件	98件	76件
	利用者数	1,411名	1,114名	851名

③施設入居の状況

施設名		平成29年度	平成30年度	令和元年度
飯南高齢者生活福祉センター	実入居者数	57名	48名	44名
	延べ入居日数	1,724日	1,463日	1,331日
飯高高齢者生活福祉センター	実入居者数	79名	50名	80名
	延べ入居日数	2,259日	1,438日	2,405日

2 福祉のまちづくり部門

ボランティア派遣実績

活動分野	種別	松阪		嬉野		三雲		飯南		飯高		計	
		依頼 件数	派遣 人数	依頼 件数	派遣 人数	依頼 件数	派遣 人数	依頼 件数	派遣 人数	依頼 件数	派遣 人数	依頼 件数	派遣 人数
		(件)	(人)	(件)	(人)	(件)	(人)	(件)	(人)	(件)	(人)	(件)	(人)
障害者関係	団体支援	3	5			4	5					7	10
	施設支援	5	40			7	42					12	82
	個別支援	24	48			2	2					26	50
	行事支援	4	168	2	23	5	35	3	11	1	3	15	240
高齢者関係	食事サービス			38	207	45	230	22	267	28	628	133	1,332
	安否確認			36	234	45	217	22	147	28	628	131	1,226
	施設支援	24	71			12	84	38	173	68	108	142	436
	行事支援	10	38	2	16	1	10	13	50			26	114
	居場所づくり			111	111			197	1112	30	124	338	1,347
	その他							14	36			14	36
児童関係	団体支援	4	2									4	2
	居場所づくり			3	3							3	3
	託児	5	8					7	14			12	22
	行事支援	4	20	1	5							5	25
	見守り活動					193	1930					193	1,930
学校	福祉体験支援	9	56	1	4							10	60
	その他	3	6									3	6
その他施設	環境整備	30	180									30	180
	その他	1	4					30	199			31	203
その他	使用済切手整理	36	134									36	134
	リサイクル活動	24	160			12	36					36	196
	地域支援	13	29			7	35			14	81	34	145
	啓発活動	2	6			2	10			1	39	5	55
	環境整備					13	65			1	196	14	261
計		201回	975人	194回	603人	348回	2,701人	346回	2,009人	171回	1,807人	1,260回	8,095人

3 在宅福祉サービス部門

1 高齢者福祉サービス

事業	項目	松阪	飯高
訪問介護事業	延べ利用者数(人)	1,258	485
	延べ利用回数(回)	11,143	7,477

事業	項目	嬉野	三雲	飯南	飯高
通所介護事業	延べ利用者数(人)	813	530	725	758
	延べ利用回数(回)	7,859	6,753	7,580	8,759

事業	項目	松阪	嬉野	飯南	三雲
総合事業 福っき一体操くらぶ	延べ利用者数(人)	272	181	255	20
	延べ利用回数(回)	813	694	764	64

※三雲は6月分までの件数(松阪との統合のため)

事業	項目	飯高
認知症対応型 共同生活介護事業	延べ利用者数(人)	213
	延べ利用回数(回)	6,418

事業	項目	嬉野	飯高
外出支援通所サービス 運営事業	延べ利用者数(人)	1,481	1,926

事業	項目	松阪	嬉野	飯高
居宅介護支援事業	延べ利用者数(人)	2,990	3,923	2,258

事業	項目	松阪	嬉野	飯高
介護保険認定調査事業	調査件数(件)	4,793	1,152	329

2 障がい者福祉サービス

事業	項目	松阪	飯高
移動支援サービス事業	延べ利用者数(人)	19	23
	延べ利用回数(回)	25	112

事業	項目	松阪	飯高
居宅介護事業	延べ利用者数(人)	394	116
	延べ利用回数(回)	5,041	1,340

事業	項目	嬉野
生活介護事業	延べ利用者数(人)	189
	延べ利用回数(回)	2,624

事業	項目	松阪	嬉野	飯高
就労継続支援B型事業	延べ利用者数(人)	40	216	207
	延べ利用回数(回)	510	3,453	3,396

事業	項目	三雲	飯南
多機能型事業	延べ利用者数(人)	289	386
	延べ利用回数(回)	4,783	6,362

事業	項目	嬉野	三雲	飯南	飯高
日中一時支援事業	延べ利用者数(人)	16	35	218	11
	延べ利用回数(回)	97	325	1,235	56

事業	項目	松阪	飯高
福祉有償運送事業	利用者数(人)	33	115
	延べ利用者数(人)	73	743

事業	項目	三雲	飯高
外部サービス利用型 共同生活援助事業	延べ利用者数(人)	46	84
	延べ利用回数(回)	1,316	2,366

事業	項目	三雲
短期入所事業	延べ利用者数(人)	37
	利用日数(日)	442

事業	科目	松阪
障がい者特定相談事業・ 障がい児相談事業	対応件数(件)	630

3 その他の福祉サービス

事業	項目	松阪	飯高
福祉有償運送事業	利用者数(人)	33	115
	延べ利用者数(人)	73	743